

2022
秋号



「ゴルフ日和」南阿蘇カントリークラブ(理学療法士 竹川 宜孝)

外來に通院している患者さまの中に、六十五歳〜九十五歳位の元気な高齢者が増えていきます。満面の笑みでお話し好きな患者さまが多いのが特徴です。長生きのメリットです。

世界保健機関(WHO)では「六十五歳以上」を高齢者と定義していますが、日本の現在の高齢者においては加齢に伴う身体的機能変化の低下が五〜十年遅延しており、「若返り」現象がみられます。日本老年学会、日本老年医学会では新しい高齢者の定義が提言され、六十五〜七十四歳を高齢者(Pre-old)、七十五〜八十九歳を高齢者(Old)、九十歳以上を超高齢者

増加している元気な超高齢者



院長補佐
片淵 茂
外科

「oldest-old(super-old)」と区別がついてきます。超高齢者と定義される患者層においても手術が必要と診断されることがあり、可能な場合は手術を行います。実施を決定するときには苦慮することも多いです。七十歳以下、八十五歳以下という年齢のみで治療方針を決定する現状では既にあるかもしれませんが、このような指標で判断できないのがフレイル(虚弱)、サルコペニア(加齢性筋肉減弱減少)、日常生活動作などの因子です。フレイルの指標である「activities」の評価が有用との報告があります。

超高齢者とはどのような生き方をしているのでしょうか?科学的に調査研究したものと、一つは国内の質の高い疫学研究に基づいた健康長寿新ガイドライン、もう一つは、世界で健康で長生きの人が多く住んでいる地域を調査し結果をまとめた本「百歳まで元気に生きる」科学的に証明された長寿の秘訣」等です。世界中で最も長寿者が多い地域「ブルリア」の力ファス地方、南米ウィルカバンバ、中央アジアのフンザ、日本の沖縄を調べて、そこから

理念

愛する人を安心して任せられる
病院の創造

基本方針

1. 患者中心の医療の提供
患者の権利を尊重し、インフォームド・コンセントを徹底することにより、相互の信頼関係の確立に努力する。
2. 患者サービスの向上
病院の居住性・機能性を高め、接遇等の改善を通じ、心身ともに快適な受診や療養生活が送れるよう配慮する。
3. 救急医療の充実、医療水準の維持・向上
救急医療の充実を図りつつ、24時間365日の医療を提供する。また各診療科の医療水準を向上させ、高度医療を維持・推進する。
4. 予防医療の展開
健診業務を積極的に行い、生活習慣病診療科及び脳卒中診療科、総合リハビリテーションセンター、他各機能の充実を図り、生活習慣の是正等を啓蒙し、発病予防へと繋ぐ医療を展開する。
5. 医療安全の確保
医療安全対策・院内感染防止等の管理体制を充実すると共に、職員の安全衛生意識の高揚を図り、事故の未然防止に努める。
6. 地域連携の強化
地域の保健・医療・福祉連携を強化し、公開講座などを通じ、地域住民が健康で豊かな生活を送られるよう支援する。
7. 経営の健全化
医療の質向上や患者サービスの充実には、安定した経営基盤が不可欠であり、適正な収益の確保、費用の節減、事業執行体制の強化など、効率的な経営努力を重ねていく。

健康に年を取るために何が必要かを考察していますが、どちらも同じ様な結果が出ています。

「健康長寿新ガイドライン」は日本老年学会、日本老年医学会が国内の質の高い疫学研究(コホート研究および無作為化比較試験)の成果から、信頼性と応用性が高いものから抜粋したガイドラインです。元気で長生き、すなわち健康長寿を実現できるかどうかは「機能的健康度」に最も大きく左右されることがわかってきました。機能的健康度とは、心身機能、生活機能、社会的機能の高低をさします。そして、この機能的健康に影響を与える二大要因は、中年期以降、次第に増え且つ重症化してくる疾病と、七十五歳以降顕著になってくる心身機能の加齢変化(老衰)です。したがって、健康長寿を達成するには、中年期以降、疾病の予防や管理をしっかり行うことはもちろん、高齢期における心身機能の加齢変化を抑制する生活習慣を身につけることが重要となります。

健康長寿のための生活習慣とは何か？健康長寿新ガイドライン「健康長寿のための十二か条」として、まとめてあり、一、食生活 二、お口の健康 三、体力・身体活動 四、社会参加 五、こころ(心理) 六、事故予防 七、健康食品やサプリメント 八、地域力 九、フレイル 十、認知症 十一、生活習慣病 十二、介護・終末期を挙げています。その中でも「食生活」、「体力・身体活動」、「社会参加」の三つは最も重要な基本項目であり、「健康長寿の三本柱」としています。肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(ウェル・ビーイング)になることが目標となります。

朝の連続「ドラマ」ちびむさぼっ隊「が最後

に描いた沖縄の島で良好なコミュニティ(共同体)の元で、多種類の野菜を作り食べ、体力と筋肉を維持するような生活が健康長寿の秘訣のようです。

健康長寿のための十二か条

- 一、食生活：いろいろな食べて、やせと栄養不足を防ごう！
- 二、お口の健康：口の健康を守り、かむ力を維持しよう！
- 三、体力・身体活動：筋力+歩行力で、生活体力をキープしよう！
- 四、フレイル：栄養・体力・社会参加三本の矢で、フレイルを防ごう！
- 五、認知症：よく食べ、よく歩き、よくしゃべり、認知症を防ごう！！
- 六、事故予防：年を重ねるほど増える、家庭内事故を防ごう！
- 元気な高齢者は転倒し骨折するリスクが高くなる骨粗鬆症の治療が必要。
- 七、社会参加：外出・交流・活動で、人やまちとつながろう！
- 八、こころ(心理)：めざそうエル・ビーイング。肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(well-being)にあることをいいます
- 九、地域力：広げよう地域の輪。地域力でみんな元気に！
- ソーシャルキャピタルが高い地域に住んでいる高齢者ほど、心理的健康や身体的健康が良好



新任医師の紹介

整形外科 堀 友宏



今年七月から、朝日野総合病院の整形外科に着任いたしました。出身大学は自治医科大学で、大学卒業後は僻地などで高齢者の方を中心に地域医療に従事し、その後は九州圏内の医療機関で、主に外傷・骨折を中心とした手術などの経験を積みました。趣味はドライブで、足を運んだ先々で地産地消も兼ねて、郷土料理などを気軽に体験できるような、日帰りの国内旅行を楽しむとじています。

また体を鍛えるために、ウエイトトレーニングなどの筋力訓練や、ランニングなどの有酸素運動なども、コロナ流行前にはしていました。今はほとんどしていないため、代わりとなるような屋外スポーツ(ゴルフなど)を検討中です。

整形外科の話に戻りますが、現在高齢化社会を迎える中で、高齢者の外傷・骨折のほとんどは転倒による、いわゆる骨粗鬆症による脆弱性骨折が原因です。骨粗鬆症を理解するには、内科や整形外科的な知識に加え、薬剤、検査、運動、栄養などの多岐にわたる知識が必要であり、そのため現在の骨粗鬆症治療では各部門が連携し、チーム医療として取り組んでいくことが主流となっています。

さらに個人での取り組みも大事かと思

います。日頃から趣味などを通して運動をすることで、自然に筋力訓練となり、その運動負荷により骨自身も鍛えられ、骨粗鬆症や脆弱性骨折の予防になります。またバランスのとれた食事をとることや、短時間でも外出することで日光浴になり、それもまた骨粗鬆症の予防につながります。

これから高齢者になる方も、すでに高齢の方も、御自身の健康のために、あるいは認知症予防のために、スポーツや趣味などを増やしてみたいかがでしょうか。

感染から守ります!! 看護部感染委員会の活動報告

北8病棟 看護師長 宮崎 ともみ

今回は、看護部感染委員会の取り組みや活動内容などを紹介させていただきます。

看護部感染委員会とは看護師の感染に対する知識を深め、感染対策を図ることにより、患者様および職員の安全を守る事を目的に毎月一回開催しています。

活動内容として、院内ラウンド、手指消毒剤の使用量調査等を行っています。ラウンドでは煩雑化する業務の中、衛生的環境を守るために各病棟をラウンドし衛生材料や消毒薬等が適切に管理されているか、清潔操作が必要とされる物品や備品等の衛生管理が保たれているかを多職種委員とともにチェックします。チェックした項目は部署に持ち帰り、良かった点や改善が必要な点を周知させます。ラウンドは多職種が評価することで部署では気付けなかつたことを知ることで、勉強になっています。

手指消毒剤の使用量調査については、看護師が消毒剤を個別に携帯するシステムが導入されたため、毎月消毒剤をどのくらい消費しているかを調査しています。消毒剤を携帯することで手指衛生の四つのタスキミング

①患者に触れる前

②清潔・無菌操作の前

③血液・体液に触れた後

④患者や周辺のものに触れた後

すぐに手指消毒ができるようになりまし
た。使用量調査の結果は各病棟にフィード
バックし、継続した感染対策を実践するよ
うに指導しています。

今後、感染対策の充実に取り組み、入
院患者様が安心して治療に専念できるよ
うに取り組んで参ります。

リハビリテーションセンターが行う ジュニアアスリート支援

総合リハビリテーションセンター

理学療法士 新井 勇人

スポーツにおける『コンディショニング』は、とても重要で、プロになればなるほど各専門に特化したサポート体制が充実しています。国立スポーツ科学センター（JSSS）では、診察室はもちろんリハビリテーション室もあり、コンディショニングスペースやカウンセリング室、栄養相談室など様々なものが準備されています。それだけアスリートを取り巻く環境は多角的な対応と科学的に分析・追及していくことが重要だと言えます。

そんな中、今回、当院リハビリテーシ

ンセンターから「将来活躍が期待されてい
るジュニアアスリート」を支援する活動に
参加してきました。参加に至った経緯とし
ては、「熊本保健科学大学と包括的に緊密
な協力関係と幅広い分野で連携してい
くことを目的とした協定を結んだこと」が
切っ掛けです。

この活動は、熊本保健科学大学が「ス
ポーツヘルスサイエンス事業」として、「水
上村」と包括連携協定を締結したことに始
まります。この包括連携協定によって水
上村が「ヴィレッジ」で合同合宿をしてい
る高校生アスリートを対象に、科学的なサ
ポートとしてメディカルチェックなどの
支援が開始されました。そして、この協
定がきっかけで大
学側より当院に
対して「ジュニ
アアスリート支
援に参加してみ
ませんか？」と
いうお誘いもあ
り、医療現場で
働く現役の理学
療法士が二名参
加することにな
りました。

私たち理学療
法士二名は、メ
ディカルスタッ
フとして選手達
の骨密度の測定
や、フィジカル
コンディショ
ンチェック、ス
トレッチや身体
の使い方に焦点
を当てたトレー



ニング指導、身体に問題を抱えている選手
達のリハビリテーションを行いました。そ
の他にも、体組成測定や精神的疲労測定な
どのデータ解析、身体にマーカーを貼って
特殊な力メータで測定を行うフォーム分析
筋肉などに痛みを訴える選手のエコー検
査など、大学スタッフや帯同したスポーツ
ドクターと連携して幅広い面で医学的な
観点からサポートを行いました。

今回測定した内容は、実際の練習強度や
身体への負荷、精神的ストレスまで数値化
できるため、今後のトレーニングや試合前
のコンディショニングを整える上で重要な
ものとなります。

また、各スポーツによって身体へのスト
レスがかかる部位は異なり、特性に合わせ
てチェックと指導を行う必要があります。
身体は専門家である理学療法士は、ケガの
治療だけでなく、選手達のケガを未然に防
ぎ、ベストなパフォーマンスができるよう
サポートすることが可能です。アスリート
にとって大事な時期にケガをすることは、
その後の選手生命に大きな影響を及ぼす
可能性があるため、身体コンディショ
ンに常に整えておく必要があります。身体
の土台をしっかりと構築するためのトレ
ニングやストレッチング、またランニング
フォームの修正などのフィジカルコン
ディショニングに合わせて、バランスの取
れた栄養や良質な睡眠、メンタルコン
ロールなど全てがベストな状態であるこ
とで、初めて最高のパフォーマンスを発揮
できると考えています。

今回の合同合宿を通して経験した選手
達のケガの予防、質の高い評価や多職種連
携の視点は、アスリートだけでなく地域の
方々や日々のリハビリ業務にも必ず活か
せると確信しています。この経験をしっか

りと活かしながら、今後のアスリート支援
や地域の患者様に貢献していきたいと思
います。



「青井阿蘇神社」人吉市上青井町(参与 仲摩 清美)

感染症のおはなし

臨床検査科 臨床検査技師

阿部 いずみ

少し肌寒い季節になってきました。日本
で新型コロナウイルス感染症（以下
COVID-19）が流行し始めて今年で三
年目になります。当初から危惧されてい
たCOVID-19とインフルエンザの同時
流行はありませんでした。これは手指消毒
やマスク着用などの基本的な感染対策が
普及し、インフルエンザの予防に効果的
であったためと考えられています。

しかし、日本感染症学会によると、近年
北半球の多くの国でインフルエンザの流
行が確認されており、今秋から冬にかけて
日本でも同様の流行が起こるのではない
かと言われています。感染拡大を防ぐため
にも、より迅速な検査が必要になってくる
でしょう。

以前はCOVID-19とインフルエン

は同時に検査できず、鼻から二回検体を採取する必要があります。現在は抗原検査に限りませんが、COVID-19とインフルエンザを同時に判定できる検査方法や、判定するプレートは異なっても同じ試薬を用いることが出来る検査方法が採用されています。そのため検体採取は一回で済み、検査時間の短縮や、患者様の負担軽減に繋がります。

感染症が広がる主な原因として、咳やくしゃみによる飛沫感染や、接触感染が挙げられます。

家庭内感染も増えてきておりますので、まず基本的な感染対策を行い、家庭内にウイルスを持ち込まないよう心がけましょう。

がん治療「ハイパーサーミア」について

臨床工学科 臨床工学技士
坂本 真樹

『がんの治療』と聞くと、抗がん剤を使用する化学治療や放射線治療、免疫治療、手術でがんを除去する外科治療を思い浮かべる方が多いかと思えます。

これらの治療以外に、併せて、当院では「ハイパーサーミア」というがん治療も行っています。

「がん組織は熱に弱い」と聞いたことはないでしょうか？ 実際、がん組織は正常組織よりも熱に弱く、四十一・五℃〜四十四℃程度の温度で死滅します。しかし、通常の加温方法では体内患部を四十一・五℃以上の高温にすることは不可能です。そこで、高周波エネルギーを利用し、身体に高周波電流を流すことで患部を四十一・五℃

近くに加温させ、がん自体を縮小・死滅させる温熱治療こそがハイパーサーミアです。

高周波エネルギーをがん組織と正常組織に同時に加えても、正常組織は血管が拡張し血流が増え、放熱することにより組織の温度上昇を抑えることができますが、がん組織では血管の拡張がほとんど無く、血流が少ないため蓄熱しやすくなります。そのため、がん組織は正常組織に比べ高い温度が保たれるので弱らせることができます。

ハイパーサーミアはがん治療として健康保険で認められており、他の治療法と比較しても副作用が少ないという特徴があります。

また、適応としては、頭部、眼球を除く幅広い部位に対応が可能です。薬物療法や放射線治療、高気圧酸素療法と併用することで、より治療効果を高めることも実証されています。

二〇二一年十月に日本ハイパーサーミア学会の認定を受け、熊本県内の認定施設は現在当院のみとなっております。

当院では、臨床工学技士四人がハイパーサーミアの治療に従事しています。

現在のがん治療はケースによつて様々な選択肢があると思いますが、ご関心のある方はお問い合わせください。



身体障害者手帳について

地域連携室 社会福祉士
藤中 詩織

みなさんは、身体障害者手帳について聞かれたことはありませんか？

今回はこの身体障害者手帳についてお話ししたいと思います。

身体障害者手帳は、身体障害者福祉法に定める身体上の障害がある方に対して、都道府県知事、指定都市市長又は中核市長が交付するものです。

交付対象者としては、身体障害者福祉法別表に掲げる身体上の障害があるものとし、別表に定める障害の種類いすれも、一定以上で継続することが要件とされている（左記のように分かれています）。

法別表に該当するかどうかの詳細は、身体障害者障害程度等級表において、障害種類別に重度の側から一級から六級の等級が定められています。

申請については、下記の通り、各区役所・総合出張所窓口への書類提出が必要です。

身体障害者手帳	
根拠	身体障害者福祉法 (昭和24年法律第283号)
交付主体	・都道府県知事 ・指定都市の市長 ・中核市の市長
障害分類	・視覚障害 ・聴覚・平衡機能障害 ・音声・言語・そしゃく障害 ・肢体不自由(上肢不自由、下肢不自由、体幹機能障害、脳原性運動機能障害) ・心臓機能障害 ・じん臓機能障害 ・呼吸器機能障害 ・ぼうこう・直腸機能障害 ・小腸機能障害 ・HIV免疫機能障害 ・肝臓機能障害

「障害者手帳について」(厚生労働省)
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/techou.html)
を加工して作成

身体障害者手帳の交付については目安として二か月程、または医学的判断が必要な場合は別途期間を要することがあります。手帳ができたら受け取りの通知書が送付され、手帳所持に伴い利用可能な福祉制度の説明は、受け渡し時に行われます。

身体障害者手帳申請についてお聞きになりたい場合は、最寄りの区役所福祉課・総合出張所または当院の連携室のスタッフまでお声かけください。

『身体障害者手帳』申請から交付までの流れ

- ① 診断書を用意
- ② 窓口で申請
- ③ 手帳交付



● 指定医の診断を受けてください。
診断書は、各福祉課または、各総合出張所にあります。

【申請に必要な物】
○ 診断書 ○ 申請書
○ 顔写真1枚
○ マイナンバー関連書類
○ 今お持ちの身体障害者手帳(再交付申請のみ)

● 交付まで2ヵ月程度かかります。
交付時に、利用できる福祉制度の説明を行います。



十善病院と博愛会病院の再編統合について

十善病院 事務長 渡邊 豊

8月1日を以って医療法人朝日野会 十善病院は、系列病院である博愛会病院と再編統合いたしました。

新生【十善病院(178床)】は、既存棟(本館、4階建て)に隣接した南棟(5階建て)を新設し、1階は放射線科、リハビリテーション科及び栄養科を有し、2階から5階は病棟となっております。

放射線科では、80列CT撮影装置を導入し短時間撮影が可能になり、また一般撮影装置及びポータブル撮影装置も最新機種に入れ替えました。リハビリ科では、従前の機能回復訓練室より2倍以上の面積を確保し、リハビリ機器も充実させ在宅復帰への支援に力を入れています。栄養科は、患者数の増加にあわせ、厨房機器、食器洗浄機、食器等を更新し、併せて各病棟に直接配膳・下膳できる専用エレベーターを導入し動線を短縮しております。

また、各階とも天井が2.8～3.0mと高く圧迫感がなく、廊下及び病室のエアコンは人を感知し送風方向を変えることができ、入院中の患者様へ快適な療養生活を提供すると共に、医療スタッフに対し機能性を高めることを基本コンセプトとしております。

病棟の構成は、2階(障害者施設等、46床)、3階(地域包括ケア、45床)、4階(療養病棟、40床)、5階(障害者施設等、47床)で、各病棟の浴室には一般浴・介助浴・機械浴を一か所に配置し、更に食堂・談話室は窓も広く明るく、阿蘇の外輪山が望めるほど展望も良くなっております。

スタッフステーションのカウンターの外壁の色は、2階はオレンジ、3階はピンク、4階はグリーン、5階はブルーで何階なのかを分かりやすくしております。

合併に合わせ、職員も大幅に増え、診療科も糖尿病代謝・内科、神経内科、リウマチ科、血液内科を新たに標榜致しました。また、既存棟は9月より順次改修工事に取り掛かる予定で、1階、及び本館4階と南棟3階の渡り廊下の2経路で両棟を繋げております。

職員一同、これまで以上に地域医療に貢献して参る所存でございますので、患者様ご家族様、地域の皆様並びに連携先・お取引先様には、これまでのご高配に厚く感謝申し上げますと共に、今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

〔十善病院内部〕



『リハビリテーション室』



『CT室』



『個室』



『スタッフステーション』

「医療情報のインフルエンサー？」



病院長代理
清水 治樹
(脳卒中診療科)

ここ数年、ネットを中心に「インフルエンサー」という言葉を耳にするようになりました。簡単にいうと、「世間に大きな影響を与える人」ということとなります。

先日、書店に行った際に健康情報のコーナーを覗いていると「血圧を下げるのに降圧薬は不要(*)」なる本を見かけました。降圧薬イライナイ論を挙げる方は医師でも多いですが、この作者は薬剤師であり興味を持って読んでみました。

専門家だけあって、さすがに薬の種類や説明はしっかりしているのですが、副作用を強調し過ぎており、「降圧薬は危ない」と、何とかして持論に誘導しようという印象。また、統計的問題のある「超健康人を対象とする一回きりの調査」から導いた人間ドック学会の血圧基準を、重要な根拠として引用してあることで本の信頼度が低下しました。

別の日、動画サイト(You Tube)に

「くも膜下出血にならないための食事」を挙げている医師あり。曰く、「ラーメンの汁」、「唐揚げ」、「クレープ」の過剰摂取がくも膜下出血のリスクを上げると。半分ウケ狙いなのは分かりますが、これらの摂取と動脈硬化の関連を図で説明しており、きちんとした医学的解説で終わっています。

後半の解説は納得できるものではないのですが、そもそもくも膜下出血の最大原因である脳動脈瘤は動脈硬化性疾患というよりも、遺伝的な血管の脆さが最大要因です。ですから、若年発症や死亡があるのです。危険因子として一番相関するのは「家族歴」。何より、塩分や脂質を控えなかったがために「くも膜下出血になる」という誤った情報を不特定多数の方に発信するのは如何なものかと感じた次第です(チャンネル登録者数や視聴者数も多く、それなりに影響力があると思うのです)。

この二例。私は一瞬で「おかしいな」と気付くのですが、医師や看護師でも「ふん」になるほどと思う方もいるようです。お二人とも立派な肩書があり、「インフルエンサー」になり得ます。新型コロナの情報もそうですが、影響力のあるヒトが発すると、混乱する原因となります。常々記していますが、情報源を広く持ち、主治医や専門医に尋ね、総合的に判断することが重要だと考えます。

* 正式な書籍名ではありません。

ホームページ
リニューアルしました

朝日野会グループ

朝日野総合病院・十善病院

(博愛会病院は、令和4年8月1日付で十善病院と統合しました。)



朝日野会系列

蘇春堂グループ

球磨病院・球磨病院介護医療院
光生病院・球磨村診療所



「秋のすすきと雲海」上益城郡山都町(理学療法士 吉本 大佑)



「銀杏並木」熊本県庁(看護師 松下 竜太)

「朝日野総合病院 公開講座」中止のお知らせ

いつも公開講座にご参加頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、院内感染防止の為、令和4年10月の「公開講座」はやむを得ず中止とさせていただきます。楽しみにされていた皆様には多大なご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程何卒よろしくお願い致します。

次回の公開講座開催日は、状況が落ち着き次第お知らせいたします。

事務部 庶務課 今村



朝日野総合病院 外来担当医表 令和4年10月現在

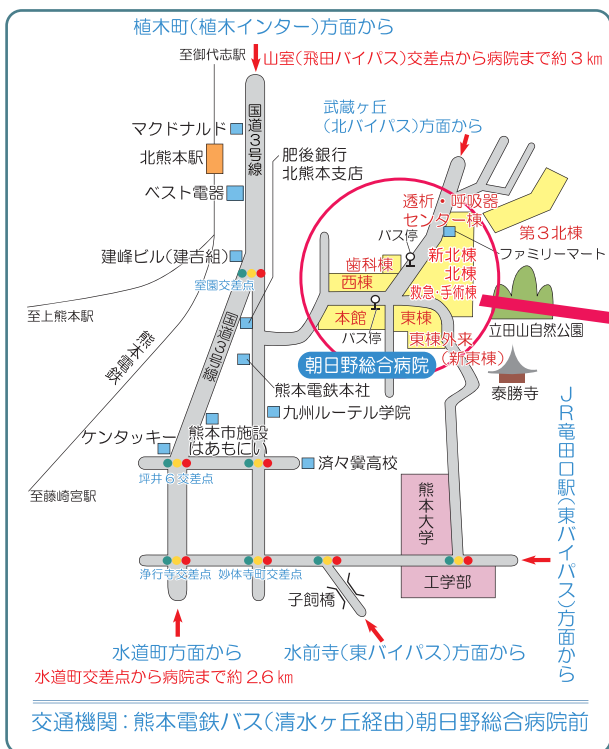
救急外来:救急患者は24時間・365日

※都合により担当医が変更となる場合がございます。

施設	診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土	
救急・手術棟	一般外科 消化器外科 血管外科 呼吸器外科 総合診療科 肛門外科 乳腺・内分泌外科	午前	土井口 幸 河野一朗 (片瀨 茂) (柴田 浩)	片瀨 茂 柴田 浩(総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗)	土井口 幸 河野一朗 柴田 浩(内視鏡検査)	片瀨 茂 柴田 浩(総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗)	片瀨 茂 河野一朗 (土井口 幸) (柴田 浩)	土井口 幸 柴田浩(第1と第3) 芹川和志(第3) 【内科外来】※11月より 第1-3 担当医 第2 上野満徳(熊大血内) 第4-5 中村朋文(熊大血内)	
		午後	※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩)	片瀨 茂 土井口 幸 (河野一朗) (柴田 浩)	※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩)	片瀨 茂 土井口 幸 (河野一朗) (柴田 浩)	片瀨 茂 河野一朗 (柴田 浩)		
	形成外科 皮膚科	午前	原田美穂	※手術日	原田美穂	原田美穂(第1と第3)	原田美穂		
	脳卒中診療科	午前	清水治樹	清水治樹	清水治樹	清水治樹	清水治樹		
	脳神経外科	午前		熊大脳神経外科 (第1・3・5)				久留米大脳外	
	緩和ケア外来 ※原則予約制	午後		片瀨 茂					
	小児リハビリテーション科	午前				清水治樹			
東棟外来	整形外科	午前	前川清継 岡元 勉 辻 王成 (野村一俊) (堀 友宏)	野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉)	野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉)	前川清継 岡元 勉 辻 王成 (野村一俊) (堀 友宏)	前川清継 野村一俊 辻 王成 (岡元 勉) (堀 友宏)	岡元 勉 堀 友宏	
		午後	※手術日 (前川清継) (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (前川清継) (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (前川清継) (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (前川清継) (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)		
	骨粗鬆症外来 ※完全予約制	午前		辻 王成					
	ペインクリニック内科	午前	清水直子		清水直子	大津哲郎	清水直子		
本館	一般内科 呼吸器内科 総合内科 リウマチ内科 血液内科 循環器内科 神経内科 心療内科	午前	清川哲志 伊藤清隆 新堀俊文 千住みどり (島津和泰) (緒方康博)	木山程荘 島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	木山程荘 清川哲志 依明恵(熊大神経内科) 上野満徳(第1と第3・熊大血内) 豊福尚旦(循環器内科) (伊藤清隆) (新堀俊文)	清川哲志 新堀俊文 千住みどり (伊藤清隆) (島津和泰)	伊藤清隆 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	※11月より「救急・手術棟」にて診療 第1 担当医 第2 上野満徳(熊大血内) 第3 担当医 第4 中村朋文(熊大血内) 第5 中村朋文(熊大血内)	
		午後	島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	新堀俊文 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰)	伊藤清隆 (清川哲志) (新堀俊文)	島津和泰 千住みどり (清川哲志) (新堀俊文)	木山程荘 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰) (新堀俊文)		
	腎臓内科	午前	古閑博子	伊東磁郎		伊東磁郎	古閑博子		
	東棟	放射線科	午前 午後	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔
		リハビリテーション科	午前 午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	西棟	糖尿病・代謝内科	午前 午後	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也	
			耳鼻咽喉科	午前 午後	湯本英二	湯本英二 菅村真由美	菅村真由美	湯本英二 菅村真由美	湯本英二 菅村真由美
乳腺外科 嚥下外来 ※完全予約制		午前 午後	後藤理沙				湯本英二 菅村真由美		
眼科		午前 午後	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	
泌尿器科 (皮膚科)		午前	川畑幸嗣(泌)		川畑幸嗣(泌) 江口善孝(泌・皮)		川畑幸嗣(泌) 江口善孝(泌・皮)		
		午後		川畑幸嗣(泌)	江口善孝(泌・皮)	川畑幸嗣(泌)	江口善孝(泌・皮)		
婦人科 ※婦人科外来は当面休診		午前		担当医 検診のみ(完全予約制)		担当医 検診のみ(完全予約制)		熊大婦人科 検診のみ(完全予約制)	
健診センター	午前	近藤圭一郎 西村龍一	近藤圭一郎	近藤圭一郎 緒方さつき	近藤圭一郎 菅 正康	近藤圭一郎 緒方さつき	担当医		
透視 呼吸器 センター	人工透析センター	午前 午後	伊東磁郎 古閑博子 木脇祐聡	川畑幸嗣	伊東磁郎 古閑博子	川畑幸嗣	伊東磁郎 古閑博子	川畑幸嗣 熊大泌尿器科医師(第1) 盛 三千孝(第2と第4) 出口隆志(第3と第5)	
北棟	温熱療法 高気圧酸素療法 ※完全予約制	午前 午後	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣		
		歯科棟	小児歯科 歯科口腔外科 (インプラント治療)	午前 午後	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎 竹下尚志(熊大歯科 口腔外)	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎	溝上太郎 中嶋 光 (第1・3・5) (熊大歯科 口腔外) 松岡祐一郎 (第2・4)

○ 診療時間：月～金 9:00～12:30 13:30～17:30 土 9:00～12:30 ※ () は特別診療 ※ 赤字は女性医師
 (歯科：月～金 9:00～13:00 14:00～18:00 土 9:00～13:00) (外来リハビリ：月～金 9:00～13:00 14:00～17:30 土 9:00～12:30)
 専門外来担当医：甲状腺外来(月・金 午前) 河野一朗, 脳卒中外来(月～金 午前) 清水治樹
 女性専門外来・ストレス外来(男女)(月・木 午後) 千住みどり

朝日野総合病院への行き方及び駐車場のご案内



健診センターのご案内

健診センター長
近藤 圭一郎

西棟 2 階の健診センターでは、皆様の健康管理のお手伝いをしています。是非ご利用下さい!

健診コース

- ・人間ドック(宿泊コース・日帰りコース・心血管病コース)
- ・生活習慣病予防健診
- ・定期健康診断
- ・一般健診
- ・**特定健康診査、特定保健指導** ※各種オプション検査、診断書発行等も行ってあります。
- ・乳がん・子宮がん検診
- ・胸部CT検査・頭部MRI検査

月曜～金曜 午前 8:00～12:00
午後 13:30～17:30
土曜日 午前 8:00～12:00

ご予約・お問合せ先

TEL 096-341-5075 (直通)
担当/臼杵 お気軽にお問合せ下さい。



医療法人 朝日野会 **朝日野総合病院**

救急告示指定(二次) 病院長 野村一俊 名誉院長 前川清継
国土交通省 病院長代理 清水治樹 常任顧問 湯本英二
短期入院協力病院 院長補佐 片刈茂・清川哲志・伊藤清隆・土井口幸
※曜日毎の担当医などの詳細は7ページをご参照下さい

病床数378床

駐車場650台

〒861-8072 熊本市北区室園町12番10号

TEL.096-344-3000

FAX.096-343-7570



<https://www.asahino.or.jp/> 朝日野会 検索

患者様の人格が尊重され、より良い医療が提供されるよう、私たちは以下の権利と責務を患者の皆様が有することを確認します。

患者様は、身分、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず良質な医療を適切かつ公平に受ける権利があります。

患者様は、人格を尊重され、個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

患者様は、診療について、分かりやすく十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。

患者様は、治療計画を理解し、自己の意思で選択し決定する権利があります。

患者様は、診療に必要な自身の健康状態を正確に医療提供者に伝える責務があります。

患者様は、良い医療環境を共有するため、病院の規則を守る責務があります。

あとがき
編集委員

今夏は新型コロナに加え、元総理が凶弾に倒れるという“テロ”があったことで、記憶に永く残るでしょう。賛否両論あった国葬ですが、各国要人の弔問を外交に生かしてくれればと願う次第です。(H.S.)

発行日/令和4年10月1日
発行責任者/野村一俊
編集委員/清水治樹、紫垣佳孝
発行所/朝日野総合病院
印刷所/(株)みどり印刷社